

2025年西日本区は大きな2つの活動があります。1つは8月1日より3日の予定で熊本アジア大会が開催されます。同時にアジアユースコンボケーションも熊本YMCA阿蘇キャンプ場で開催されます。日本のワイズメンとユースでアジアの仲間をお招きしましょう。アジアの中での日本のワイズメン & YMCAの役割を意識し、安全で平和の中でアジアの仲間と語り合える機会に感謝を申し上げます。先日のアジア大会香港で会ったアジアの仲間は楽しみにしていると仰ってました。この素晴らしい大会を成功裏に導くためにも皆様の協力が必要です。よろしく願い申し上げます。

2つ目は2025年にラオス人民民主共和国にYMCAホテル専門学校の開校を予定しております。ラオス政府、日本政府も多大なご協力頂き、現在『ラオス有志の会』で慎重に準備が進められております。是非とも未長いご協力を御願い申し上げます。

我ら個人の平和への思いは小さなものであっても、纏まれば大きな力となると信じます。その思いを希望の光とし、暗闇を照らして参りましょう。私達の活動で世界の仲間と連帯し、諦めず、焦らず前に進めば世界平和が実現できると信じて病みません。今後とも宜しく御願い申し上げます。

■■■ 第1例会レポート ■■■

と き：2023年12月9日（土）5:00 p.m.～7:45 p.m.
 ところ：ホテル名古屋ガーデンパレス

名古屋クラブのクリスマス例会はコロナ禍で一回教会で礼拝のみの年が有りましたが恒例の名古屋ガーデンパレスでの再開3回目のクリスマス例会を持つことが出来ました。

クリスマス礼拝は 奏楽は川本ワイズのギター、私相馬の聖書朗読と司会、西村ワイズ祝祷。川口ワイズの奨励は阪和部会でご講演された山崎浩敬「あたたかい小さな手のリレー」のバス停でそっと押す優しい小学生のリレーを想い涙しました。皆様と素敵な式場で礼拝・司会ででき、感謝でした。



祝会は戸田会長開会点鐘後のワイズソング高らかに、参加者紹介、加藤副会長食前の祈りで始まり、YYバンド（加藤・川本・谷川・戸田・渡辺ワイズ）演奏によるクリスマスソングを皆で楽しみながら、コースディナーの会食と成りました。

クリスマスリーススタイルの前菜、シーフード・鴨・牛ヒレグリル等、手の込んだお料理の飾り付け・美味しさに感動・感謝でした。ゲストの南山ハーベストクラブの方々や藤田様、川瀬様、特に亡夫の教え子田中様にご挨拶でき嬉しゅうございました。ご準備等頂いた皆様にも感謝しながら母子家路につきました。ありがとうございました。（相馬静香）

YMCA ニュース

フィリピンフレンドシップキャンプ

2024年2月19日（月）～26日（月）にフィリピンのアルバイで実施されます。以前は災害復興の為にワークキャンプとして実施していましたが、しばらく途切れた為2019年に仕切り直して交流を目的に再出発しましたが、残念ながらコロナでまた中断し、再々出発となります。今年は「環境保護活動」でサンゴの苗植えを実施します。日本からは子どもたちに書道や折り紙など日本の文化や遊びを伝えます。参加できるユースリーダー2名の募集に対して、10名の希望

者がきました。なので選ぶために課題のレポートを提出してもらいましたが、全て期限内に熱い想いのレポートが集まり、余計に悩みの種になりました。希望するリーダーの過去のYMCAへの関わり方や参加率を調べると、やはりかなり積極的に関わっていることも分かりました。他のスタッフにも相談し2週間ほど悩み、先日選びました。でもうれしい悩みだと思いました。今回のキャンプではアルバイYMCAの総主事とZoomでリーダーたちとミーティングの機会を設けます。「交流」だけにとどまらず、「少しでも深く掘り下げた交流」をしたいと思います。頼もしいリーダーたちとワイズ3月例会でご報告させていただきます。（中井信幸）

第 2 例会レポート

と き：2023年12月18日(月) 19:05～20:50
と ころ：Zoomリモート

1. 2023-2024 上半期～下半期例会プログラム

月日	曜日	会場	プログラム
1	9	YMCA	①新年例会 「3分箇スピーチ」
	15	ZOOM	②役員会
2	13	YMCA	①卓話例会 (近藤友子氏)
	19	ZOOM	② 役員会
3	12	ラ・スース・アン	①フィリピンフレンド シップキャンプ報告会
	18	ZOOM	② 役員会

- ・1月新年例会は、少しだけ豪華な食事(お弁当)を用意する予定(お楽しみに)
- ・2月第一例会 卓話(川本さん御友人 加藤友子氏)
- ・3月第一例会：ラ・スース・アンを会場に、2月に実施の名古屋YMCAフィリピンフレンドシップキャンプ報告会をメインに、ゲストに京都グローバルクラブワイズメンズクラブメンバーをお迎えする。

2. クリスマス例会振り返り 参加者 24 名

会計報告：招待者ゲストが少なかった事、ホテル側の全面協力、クラブメンバーによるアトラクションなどで支出を抑えることができ、徴収した会費内で収まった。益金はクラブファンドに計上する。

ゲスト：南山ハーベストクラブ(荒川・杉山・小林・近藤)・藤田・田中・川瀬 の7氏。感謝!

礼 拝：ギターによる奏楽(初めての試み)は良かった。

祝 会：終始和やかな雰囲気の良いクリスマス例会であった。乾杯後のアトラクションはアトラクションに集中することが難しい。特に身内によるアトラクションだったためか?

総 括：全般的に準備の時間が短すぎた事が、招待者やゲストが少なかった事に顕れている。次年度以降、9月から準備を始め10月初旬には案内ができるように心がけるべきだ。

3. CS 事業について

① 12/16(土) 愛実の会クリスマス会 参加者：戸田・渡辺・川本・平野

参加予定の加藤・谷川が急用で欠席となったが、予定通り4年ぶりの対面でのクリスマスコンサートが開催でき

た。プレゼント(ケーキ・献金)も含め、愛実の会からも好感想をいただき、良いクリスマス会となった。

② 12/25(月) ミカン狩り招待 参加予定者：谷川・戸田・川本・平野・渡辺

奉仕者は午前9時30分に現地集合。クラブメンバーに周知し追加の奉仕者を募集する。

詳細は2施設宛の案内書を参照の事(添付)

4. YMCAより

① クリスマスキャロルが4年ぶりに名古屋駅にて開催が出来た。昼間の催しで多くの町ゆく人々が足を止め集まり、歌を通じてイエスの誕生をお祝いする良いプログラムとなった。

② フィリピンフレンドシップキャンプについてユースリーダーに募集を掛けたところ、ユース2名枠に対し10名の応募があった。過去3年間のコロナ禍の弊害で活動が制限されていたユースが、今回多く参加を希望したことが主要因であると思うが、次年度以降ユースを送り出すための支援をワイズに協力要請したい旨、中井担当主事から要望があった。

5. その他

- ・牧野万里子氏の逝去に伴い、西日本区国際・交流事業主任に直前主任小田哲也ワイズが就任左した。
- ・和歌山紀の川クラブ40周年記念祝会2024年7月28日(日)11:30～15:00 ホテルグランヴィア和歌山で実施する旨の第1報が届いた。→今後クラブメンバーに周知して参加者を募る。
- ・ブリテン原稿担当(毎月20日締め切り:渡辺ワイズまで)

2月巻頭言(長井)1月第一例会レポート(都築)その他のブリテン原稿は今後確認 ワイズ・YMCA 行事等参加者は連絡ください。

ハッピーバースデー

メン

7日 西村 清くん
15日 平野 実郎くん
17日 河部 薫くん
19日 鈴木 貞祥くん

メネット

6日 河部 慈美さん
11日 中村 正子さん
30日 久保田 美代子さん

会計より 会費納入 のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入して下さるようお願いいたします。(3ヶ月ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい) また中部の理事とキャビネットを支援する為に昨年度決定された3年間限定のリノベーション基金の今期は3年目になります。クラブ会費を納入いただく時に合わせて納入ください。金額は一人年間3,000円です。

ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「だから、キリストに結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」
(コリントの信徒への手紙二5章17節)

西村 清

「明けましておめでとうございます。」

新しい年が始まる正月には、このように日本人は挨拶してきました。12月31日」から翌年の1月1日になっても、物理的には時間の継続、時間の経過をしたに過ぎません。しかしこのような挨拶は古くからなされてきました。つまり誰でも新鮮なスタートを好みます。良くなろうとするチャンス、新しい機会として新しい希望に生きる時としたいと願うからです。

さて、「時」とは不思議なものです。聖書の「時」に二つの言葉が使われています。クロノス(χρόνος)であり、カイロス(καιρός)です。クロノスは時間の流れといますが、経過を表します。英語のクロニクル(chronicle…年代記の意味)の語源です。12月31日から翌年の1月1日は時の経過で、日々過ぎ去る時の流れと同じです。しかし正月は単なる時の経過と考えるのではなく、特別な

時、その時を特別に考えて、「一年の計は元旦にあり」というように、元旦に特別な意味を見出すのです。このような時をカイロスと考えます。

私たちに2024年という新しい時間が与えられました。時間は決して自分のものではないのです。時間とは与えられたものなのです。大阪サウスの松岡度一ワイズも述べておられるように、私たちの時間が始まったのは生まれた時です。自分の意思によって生まれたのではなく、神のみ心によって命が与えられたのです。誰でも自分で生まれた人はいません。与えられた人生、与えられた時間を自分のためにだけ使うのではなく、他者のために、隣人が幸いになるために使いたいものだと思います。そのことも新しい年の目標の一つに加えてはどうでしょうか。

愛実の会クリスマスコンサート報告

12月16日 CS事業の一環であります、名古屋クラブのYYバンド(当日は谷川さん、加藤さんは急用で欠席で戸田、川本、渡辺で演奏奉仕しました)が、愛実の会を訪問して今年は4年ぶりに生のクリスマスコンサートを行ってきました。名古屋クラブはメネットの食事奉仕から始めて今年で28年目のお付き合いで その間もずっと愛実の会を支援しています。コロナ禍で訪問ができない時はZoomを使ったり、窓越しからのキャロリング等で関係を閉ざすことなく続けています。小さなクリスマスですが、ここに本当のクリスマスがあるように思います。最

後に全員で「きよしこの夜」を歌い、暖かな気持ちになれたひと時でした。感謝
(戸田真二)



プリテン委員 よりお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員で把握出来ておりません。ワイズやYMCA関係の行事に参加された方は その旨プリテン委員にお知らせください。よろしくお願い致します。